

アートプロジェクト

まちばのまちばり

千葉の街場で、町のテーラーが活躍する環境をつくるプロジェクト。従来の仕立て屋のように完璧・完成を目指す。服作りではなく、まち針で仮留めしたような工作としての自由な服作りで街に貢献する。

ワークショップ「〇〇の人」への参加を重ね、市民アーティストとしての「まちまちテーラー」に認定されると、そのユニークな発想・手法をもとに、町の仕事着や個人からの注文など、町の服を仕立てていく。

本会期中に現れるインスタレーション「まちまちいちば」は、まちまちテーラーの仕事場／商品見本市／商談の場である。ユニークな服作りと市場は街場に新しい交流を生むだろう。まちまちテーラーとまちまちいちばが千葉のまち針となって、人と人の関係を繋げていく。



市民参加のかたち：制作参加・ワークショップ・展示鑑賞

西尾 美也

1982年奈良県生まれ。東京都在住。東京藝術大学大学院博士後期課程修了。博士（美術）。文化庁芸術家在外研修員（ケニア共和国ナイロビ）、奈良県立大学地域創造学部准教授などを経て、現在、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。六本木アートナイト2014ではテーマプロジェクトを手がけ、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館の3ヶ所で古着を再利用した大規模な作品を発表した。アフリカと日本をつなぐアートプロジェクトの企画・運営のほか、ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」も手がける。近年の主なグループ展に、「Study：大阪関西国際芸術祭2025」、「東京ビエンナーレ2023」、「東京ビエンナーレ2020/2021」、「DOMANI・明日展」（国立新美術館、2018年）、「ソーシャリー・エンゲイジド・アート展」（3331 Arts Chiyoda、2017年）、「あいちトリエンナーレ2016」、「さいたまトリエンナーレ2016」などがある。奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」プログラムディレクター（2017年～2020年）。奈良県立大学実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」ディレクター（2020年～2023年）。主著に、『装いは内破する』（単著、左右社、2024年）、『美術は教育』（編著、現代企画室、2024年）がある。